

rara-ca

Vol.05
2024 SPRING
セントラル愛知交響楽団
特別情報誌

音合わせ心ひとつに「ら」でチューニング… Central Aichiの情報をお届け

いよいよ2024年シーズン幕開け!

角田音楽監督就任

新たに就任する角田鋼亮音楽監督のもと、活動拠点を愛知県芸術劇場コンサートホールに移し、より多くの皆様に多彩なプログラムで満足度の高い演奏をお楽しみいただけるよう挑戦していきます。定期演奏会のテーマは「新しい景色、新しい音世界」。様々な時代、土地、音色、色彩の情景を感じていただけるようなラインナップを揃えました。新たな場所で、どんな風景が見えてくるのか、どんな音が聴こえてくるのか…一緒に体験してみませんか。

今シーズンの公演について

年7回の定期演奏会の他、大好評の「Wコンチェルト」「超! 有名曲」の各シリーズに加え、「オペラハイライト」シリーズを開催します。「Wコンチェルト」は1人のソリストが、1公演で2曲の協奏曲を演奏します。ピアノ松田華音、金子三勇士、ヴァイオリン成田達輝の魅力が満開! さらにピアニストには得意とするソロ曲をご披露いただきます。「超! 有名曲」は、「イギリス」「アメリカ」「スペイン」「ウィーン」の4カ所を巡ります。聴き覚えのある超! 有名曲が飛び出しますので、ぜひお楽しみに。新たに開幕する「オペラハイライトシリーズ」、詳しくは下の記事をご覧ください。

今シーズンの注目! 「オペラハイライト」シリーズ

トスカ

椿姫

カルメン

有名な3大悲劇オペラが1年で鑑賞できる!!
— 東京二期会とセントラル愛知交響楽団によるオリジナル企画、登場

オペラは最高の総合芸術と言われますが、オペラを観たことがない方には「ちょっと敷居が高そうだけど、初めてでも楽しめる?」「何に注目して観るといいの?」という疑問を持つ人も…。

今回の「オペラハイライト」シリーズの特長

- ◆ 名作オペラの中から名場面を中心にグッと凝縮、美味しいところ満載。
- ◆ オーケストラの豊潤な響きの中で、演技をしながら表現豊かに歌う名歌手陣の歌声は圧巻!
- ◆ 初めての方でも全体のストーリーが分かりやすい構成。



構成・演出: 宮本益光



角田鋼亮

©Makoto Kamiya



松尾葉子

構成・演出は宮本益光が手がけます。「宮本益光とオペラに行こう」の著者でもあり、東京二期会で数々のオペラに主演してきたバリトン歌手でもある宮本ならではの演出に乞うご期待! 後半では名歌手たちが、それぞれ得意な有名アリアを熱唱。個性豊かにオペラの世界へ誘います。他では聴けない、まさに豪華なりサイタル。指揮をするのは、「トスカ」「椿姫」は音楽監督・角田鋼亮、「カルメン」はフランス物を得意とする特別客演指揮者・松尾葉子。今年、シリーズ初回「トスカ」の作曲家、プッチーニ没後100年のアニヴァーサリーヤー。2006年のトリノオリンピック、フィギュアスケート荒川静香さん決勝フリー演技(「イナバウアー」が印象的)のバックに流れていたアノ曲…を作曲したのもプッチーニ(オペラ「トゥーランドット」)です。サッカー日本代表応援歌「アイダ」。あの曲は「椿姫」を作曲し「オペラ王」と呼ばれたヴェルディの作品。「カルメン」はフランスの作曲家ビゼーの唯一のオペラ作品ですが、出だしを聴いたら誰もが知っている超! 有名曲です。「オペラ」を観ていると、どこかで聴いたことのある旋律が突然現れたりもします。この「オペラハイライト」シリーズを観れば、歌も歌手もストーリーもわかり、1年であなたもオペラファン!

オペラハイライト シリーズ

公演
情報

6/9日 [開演 15:00]

Vol.1 プッチーニ「トスカ」

愛知県芸術劇場コンサートホール プラチナ¥7,000 S¥6,000 A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000 ※U25各席半額

10/6日 [開演 15:00]

Vol.2 ヴェルディ「椿姫」

'25 3/22土 [開演 15:00]

Vol.3 ビゼー「カルメン」

角田鋼亮音楽監督就任記念 第203回定期演奏会〈新しい音色〉

4/27 土 [開演14:30] 愛知県芸術劇場コンサートホール
プラチナ席¥7,000 S¥5,000 A¥4,000 B¥3,000 C¥2,000 ※U25各席半額
◎出演/角田鋼亮、務川慧悟

プログラム ヨハン・シュトラウスII世: 皇帝円舞曲 Op.437、ベートーヴェン: ヴァイオリン協奏曲 二長調 Op.61 (ピアノ編曲版)
ブラームス(シェーンベルク編): ピアノ四重奏曲第1番 ト短調 Op.25 (管弦楽版)

指揮者 **角田鋼亮**

SPECIAL MESSAGE



©Makoto Kamiya

皇帝円舞曲は、元々ベルリンの新しいコンサートホールが開場される事を記念して作曲された作品。私たちにとって新本拠地となる愛知県芸術劇場コンサートホールでの幕開けの演奏会に、どんなセントラルの「新しい音色」が聴こえてくるのかご期待下さい。続く2曲は、普段聴き馴染んで異なる楽器とは異なる色彩で化粧直されたもの。ベートーヴェンのソリストはピアニスト!の務川慧悟さん。ヴァイオリン協奏曲の新たな姿と務川さんとの音楽的会話が楽しみです。セントラルが2023年度通年で取り上げてきたブラームス。そこから羽ばたく形で、後半にはシェーンベルク管弦楽編曲版のピアノ四重奏曲を演奏します。さあ、一緒に新しい世界へ。

ピアニスト **務川慧悟**

SPECIAL MESSAGE



©Yuji Ueno

30代半ば、いわば「中期」のベートーヴェンの作曲したヴァイオリン協奏曲は、その力ある構成と豊かな抒情から、不朽の名作かつ、ヴァイオリニストにとって1つの登るべき大山として君臨しているのだからけれど、ベートーヴェンはその作曲の翌年、それを自らピアノ協奏曲に編曲したのでした。こうして、本来第5番までとされる彼のピアノ協奏曲以上に実は規模の大きなこの「第6番」が完成したわけですが、それはピアノの名手であったベートーヴェンによる紛れもないオリジナル編曲ですから、ピアノという楽器の技巧と、瑞々しい書法に富んだ素晴らしいものに仕上がっています。滅多に演奏されることがありませんが、ベートーヴェンを知る上で是非聴いて頂きたい作品です。

Wコンチェルト 松田華音 Vol.2

5/12 土 [開演14:30] 愛知県芸術劇場コンサートホール
S¥5,000(Sペア¥7,000) A¥4,000(Aペア¥5,600) B¥3,000 C¥2,000 ※U25各席半額(ペア席対象外)
◎出演/齊藤一郎、松田華音

プログラム オール・ラフマニノフ!! ソロ曲「12の歌」Op.21より 第5曲「リラの花」変イ長調、練習曲「音の絵」Op.39より 第6曲「赤ずきんちゃん」と狼」イ短調、楽興の時 Op.16より 第6曲 八長調
ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第4番 ト短調 Op.40、ピアノ協奏曲第2番 八短調 Op.18

ピアニスト **松田華音** SPECIAL MESSAGE

前はオールチャイコフスキープログラムというコンセプトで王道の協奏曲第1番、そして演奏される機会の少ない協奏曲第3番をお聴きいただきましたので、今回も皆様がよくご存知の作品と珍しいものをお供えておりました。昨年がちょうどラフマニノフの生誕150周年でしたので、あえて翌年の本年、オールラフマニノフプログラムで皆様に楽しんでいただけたらと考えました。代表的な作品である協奏曲第2番、そして第4番を選びました。あくまでわたし自身の勝手なイメージで

すが、協奏曲第2番は今この瞬間に起きていること、自分が立ち向かっていること、現在は過去に、そして未来は現在に流れて行く時の動きをイメージさせるような音楽。それに比べて第4番は不意に懐かしい香りに出会った時の感動、思い出の中に迷い込んでしまった感覚、そして過去の経験から新たに生まれてくる希望や前に進んでいくためのエネルギーを感じさせてくれるような音楽だと思っています。さらにピアノの小品は協奏曲とはまた違った世界観を感じていただけるようなものを選曲いたしましたので、皆様に様々なラフマニノフの世界を楽しんでいただけたらととても嬉しいです。



©Ayako Yamamoto

第204回定期演奏会〈フィンランドの景色〉

5/31 金 [開演18:45] 愛知県芸術劇場コンサートホール
プラチナ席¥7,000 S¥5,000 A¥4,000 B¥3,000 C¥2,000 ※U25各席半額
◎出演/大友直人、辻彩奈

プログラム シベリウス: ヴァイオリン協奏曲 二短調 Op.47、シベリウス: 交響曲第2番 二長調 Op.43

指揮者 **大友直人**

SPECIAL MESSAGE



©Rowland Kirishima

フィンランドを代表する大作曲家シベリウスは、多くのオーケストラ曲を残し、そのどれもが名作と言える作品ばかりです。なかでも今回演奏されるヴァイオリン協奏曲と交響曲第2番は、まさにシベリウスの代表作といえるでしょう。いずれの曲も冒頭から、まるで魔法にかけられたようにホールの空気が変わってまいります。シベリウスのマジックです。シベリウスは若い頃、真剣にヴァイオリニストになることを目指して練習に励んでいたと言われていました。シベリウスの管弦楽曲は全ての楽器を効果的に使っていますが特に弦楽器群の響きは秀逸です。ヴァイオリンパートはもちろんのこと弦楽器には強いこだわりがあったのだと思います。今回演奏される2曲は、凛とした空気感、素朴さ、温かさ、哀愁、力強さ、他にも言葉に出来ない様々なものを感じていただくことができると思います。ソリストの辻彩奈さんは優秀な若い世代のヴァイオリニストのなかでも、ひときわ輝きを放つ存在です。安定したテクニックを支えにのびのびと自由自在な音楽を奏でてくれます。彼女とのシベリウスは初めての共演になります。表情豊かな素晴らしい演奏を披露してくれることでしょう。セントラル愛知の皆さんとは昨年に続いての共演となります。高い演奏力と柔軟性のある素晴らしいメンバーの皆さんと再び一緒にできることを楽しみにしています。

ヴァイオリニスト **辻彩奈**

SPECIAL MESSAGE



©Makoto Kamiya

シベリウスのヴァイオリン協奏曲は、2016年モントリオール国際音楽コンクールで優勝した時にファイナルで演奏した作品になるので、私にとってとても思い出の強い協奏曲です。冒頭から北歐の澄み切った空のような冷たい印象の音楽が展開され、徐々に盛り上がっていく劇的な曲想が特徴です。私はこの曲の第2楽章がコンチェルトの中でも一番好きで、人間の温かみや愛を感じられると思っています。壮大なオーケストレーションで作品が書かれていますので、大友さんとセントラルの皆さんと共に、北歐の大自然を感じられるような音楽作りを目指して頑張りたいと思います! セントラル愛知交響楽団とは2013年の初共演以来その後何度も一緒にしています。最近では2021年のアジア・オーケストラ・ウィーク、2023年のオーケストラ・キャラバン in 四日市で共演(指揮:角田鋼亮さん)させていただいています。今回、演奏会場が愛知県芸術劇場コンサートホールに変わる新しいシーズンの定期演奏会に呼んで頂いたことをとても光栄に思っています。

オペラハイライトシリーズ Vol.1 プッチーニ「トスカ」

6/9 日 [開演15:00] 愛知県芸術劇場コンサートホール プラチナ席¥7,000 S¥6,000 A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000 ※U25各席半額



©Makoto Kamiya

指揮 / 角田銅亮 (音楽監督)



©Yoshinobu Fukaya

トスカ / 木下美穂子



カヴァラドッシ / 福井敬



スカルピア男爵 / 今井俊輔

構成・演出 宮本益光

SPECIAL MESSAGE

オーケストラでオペラを聴こう プッチーニ「トスカ」のご案内

—— オペラは呼吸の芸術

オペラはイタリアで生まれ、400年以上の歴史を有しています。演奏だけでなく、文学、演劇、美術、服飾、色彩、歴史、音響空間など、さまざまな分野の最先端が集結し一つの作品を創りあげるところに、オペラの楽しさと可能性が詰まっています。中でもマイクも使用せず劇場を満たす歌手の声、表現は、オペラの醍醐味の一つ。今回、角田銅亮マエストロ率いるセントラル愛知交響楽団がお届けするのは、プッチーニ作曲「トスカ」。イタリアオペラの真骨頂とも称すべき作品で、人の呼吸が芸術へと昇華する様を体験することができるでしょう。

—— トスカの面白さ

恋、愛欲、敵、憎悪、殺人、死…恋以外はあまり聞かたくない言葉が続きますが、これがドラマなら話は別。トスカにはこれらがすべて詰まっており、物語もスピーディーに展開します。決して長くない演奏時間も相まって、オペラ初心者にもオススメの作品と言えるでしょう。主な登場人物は三人。共和制が廃止されスカルピアによる恐怖政治に民衆が怯えるローマ、画家カヴァラドッシは共和派で、スカルピアに対する立場です。カヴァラドッシの恋人、歌姫トスカは彼を心から愛していますが、嫉妬心

も強いのが玉に瑕。トスカに目をつけていたスカルピアはその嫉妬心を利用して、カヴァラドッシを追い詰め、トスカを我が物にしようと迫ります。しかしトスカはスカルピアを殺害、ついにカヴァラドッシを助け出し自由になれたと思ったとき…。

—— コンサートホールで観るオペラ

本来、オペラにおけるオーケストラとは、オーケストラピットというお客様の目に触れない位置で演奏します。しかし今回、会場はコンサートホール。セントラル愛知交響楽団の精鋭の皆さん、その妙技を、まるでシンフォニーを聴くように視覚的にもお楽しみいただけます。歌手の感情に寄り添う多彩な音色に、皆様はオペラが音楽芸術であることをより深く理解されることと思います。もちろんコンサートホールだからと言ってお芝居がないわけではございません。歌手の皆様には役どころにあった衣裳を身にまとい、照明、舞台道具を活用し、本格的なオペラの舞台さながらに歌い演じていただきます。

—— 国内トップクラスの歌手の声に酔う

配役はトスカ役に木下美穂子、カヴァラドッシ役に福井敬、スカルピア役に今井俊輔と、日本を代表する歌手が集結。完全無欠、理想的な配役に、すでに「一度きりなんてもったいない!」との声も多く聞かれます。国内外の劇場、コンサートで常に主演を重ね、音楽界を牽引してきたトップクラスのオペラ歌手の演唱にご期待ください。そして誰よりもオペラに精通しているマエストロの情熱、ドライブにもご注目ください。



©Makoto Kamiya

超! 有名曲シリーズ Vol.6 『イギリス』

6/29 土 [開演14:30] 愛知県芸術劇場コンサートホール

S¥5,000 (Sベア¥7,000) A¥4,000 (Aベア¥5,600) B¥3,000 C¥2,000 ※U25各席半額 (ベア席対象外)

◎出演 / 松尾葉子、金城学院大学文学部音楽芸術学科音楽コース生

プログラム エルガー:行進曲「威風堂々」Op.39 第1番 二長調、愛の挨拶 Op.12
ヴォーン・ウィリアムズ(グリーンズ編):「グリーンズスリーヴス」による幻想曲、ホルスト:組曲「惑星」Op.32

指揮者 松尾葉子

SPECIAL MESSAGE

イギリスと言えばまず浮かぶのはホルストの『惑星』です。7曲ある組曲の中でも木星は特に有名で、ロザさめる素敵なメロディーが演奏されます。火星、水星、土星など各曲は特徴のある構成で、あっという間に宇宙を駆け巡ることが出来ます。占星術に興味のある方はいろいろな想像をめぐらすことも出来ます。この曲が大好きな方も初めて聴かれる方も、圧倒的な迫力のオーケストラの音に魅せられる

ことと思います。最後の海王星には美しい女声合唱が登場します。宇宙の広大さに引き込まれそうです。エルガーの行進曲『威風堂々』第1番もこのコンサートの幕開けに相応しく、躍動感に満ちた圧巻の迫力が味わえます。そして、『グリーンズスリーヴス幻想曲』や『愛のあいさつ』も哀愁と甘美にあふれるメロディーで優しく包みこんでくれます。是非ホールで素晴らしい音響を体感してください。



その他
おすすめ

公演情報

4/18 木 [開演 18:30] 愛知県芸術劇場コンサートホール
全自由席 一般¥3,000 U25席1,500

第92回 日本音楽コンクール受賞記念演奏会

◎出演 / 松尾葉子 (指揮)、市川敏雅 (バトン)
水野琴音 (ヴァイオリン)、吉田智就 (ホルン)、鈴木愛美 (ピアノ)
◎曲目 / ロッシーニ:歌劇「セヴィリアの理髪師」より「私は町の何でも屋」ほか (市川敏雅)、メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 第4番 (水野琴音)、モーツァルト:ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K.447 (吉田智就)、ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第4番 長調 作品58 (鈴木愛美)



5/18 土 [開演 14:30] 刈谷市総合文化センターアイリス大ホール
全指定席 一般¥3,500 子ども (3歳~小学生) ¥1,000

0歳からのオーケストラファミリーコンサート だいすけお兄さん&こうすけマエストロと行く 音の動物園

◎出演 / 角田銅亮 (指揮)、横山だいすけ (歌)、岡田純奈 バレエ団
◎曲目 / 関牛士の歌 (ビゼー:オペラ「カルメン」より)、ジャングルポケット、白鳥 (サン＝サーンス:動物の謝肉祭)、フィドルファドル、イカイカイルカ、
「トムとジェリー」テーマ曲、こいぬのピンゴ、ぼよん行進曲、ほか
(♪だいすけお兄さん参加曲)

※未就学児入場可。2歳以下は保護者1名につき、お子様1名まで膝上鑑賞無料、席が必要な場合は有料。



オーケストラ Q&A



「オーケストラQ&A」の質問募集

セントラル愛知交響楽団ホームページ内の「rara-ca」ページにある質問フォームから、オーケストラについて疑問に思っていること、聞いてみたいことなどお送りください。
<https://www.caso.jp/faq-form/>



Q1 指揮棒はいつ頃から、どうして使われるようになったのですか？

A 元々、17世紀頃のバロック時代に指揮杖と呼ばれるものを床に打ち付けて拍を取っていたのですが、リユリという作曲家が誤ってその指揮杖で自分の足を刺してしまい、その存在が消えていきました。その後、ハイドン、モーツァルト等の古典派は手で指揮を、その後1784年生まれのシュポアが初めて指揮棒を使ったと言われています。とは言っても、最初は五線紙を丸めたような筒状のものだったようで、現在の木製の指揮棒が使われるようになったのは20世紀近くになってからと言われています。指揮棒を使うメリットは、打点(拍を作る点)や、その点と点の間の軌跡の見えやすさにあります。ロマン派に入り、作曲家の求める音楽も壮大になっていき、オーケストラの編成も増え、どんな場所からも見えやすい指揮棒が重宝されたのだと思います。ちなみに、現代の指揮棒の棒の部分は木、カーボン、グラスファイバー、持ち手の部分は木、コルクなどでできているのが一般的です。

(音楽監督/角田鋼亮)



Q2 演奏中に指揮棒を使う時と使わない時がありますが、どのように使い分けているのですか？

A 指揮棒を使うメリットは、打点の明瞭さの他にも、幅広い表現ができる事にもあります。曲想によって指揮棒を、時には剣のように鋭く振る舞ったり、鳥の羽のようにはためかせたり、絵筆で絵を描くように使ったり、魔法の杖のように震わせる事もできます。ぜひ指揮棒を使った色々な表現にご注目下さい。一方で指揮棒を持たず、手で指揮をするメリットもあります。人間の呼吸感であったり、柔らかい質感や温もりが表現しやすいのです。そういった意味では歌が入るような作品であったり、交響曲の緩徐楽章に適しているかもしれません。また、現代作品で、片手ずつ別々に1や2の数字を指を折って、各楽器に示す必要があったりする場合があります。この時は指揮棒を持ってはられません。最近ではどのような内容の演奏会でも指揮棒を持たない指揮者も増えてきました。オーケストラのレベルがどんどんと高くなり、クリアな打点そのものがなくなってきたのが大きな理由だと思います。また腕の長い指揮者も指揮棒を持たない傾向にあるかと思えます。私個人は指揮棒を使う使わない、それぞれの良さをうまく出しながら指揮できたらと思っています。

(音楽監督/角田鋼亮)

クラシックこぼれ話

ハイ、皆さん！ マーシー山本です。このコラムのコーナーも5回目になりました。今回は2024年度最初の定期演奏会のプログラムの中から珍しい曲についてお話しします。それは、ベートーヴェンが書いたヴァイオリン協奏曲のピアノ編曲版です。この曲はあの頑固なベートーヴェンが自ら編曲しました。どうしてかと言うと、友人だったシュテファン・フォン・ブロイニングにヴァイオリン協奏曲を献呈し、同じ曲をピアニストの妻のユーリエにピアノ版にして贈ったからです。これはベートーヴェンの結婚プレゼントだったのです。この曲には単に原曲のヴァイオリン協奏曲の写しに止まらず非常に重要な要素が含まれています。

それは1楽章のカデンツァ(※)の部分です。

原曲のヴァイオリン協奏曲にはカデンツァは音符が何も書かれていません。しかし、ピアノ協奏曲に編曲した時、ベートーヴェンはカデンツァに音符を書いたのです。特に斬新なのは、途中でティンパニ、ファゴットが入るなど、興味深い要素が盛り込まれていることです。ベートーヴェンが書いたこのカデンツァは後のヴァイオリン奏者にも影響を与え、そのピアノ用のカデンツァをヴァイオリン協奏曲に取り入れているヴァイオリン奏者もいるようです。ピアノが得意だったベートーヴェンはピアニストには自由を与えなかったようですね。

※カデンツァとはソリストがオーケストラの伴奏を伴わずに自由に即興的な演奏をする箇所

今後発売予定の公演情報

一般発売 4/10(水) 会員先行発売 4/8(月)・9(火)	6/29(土) 超! 有名曲シリーズ Vol.6 『イギリス』	[会場] 愛知県芸術劇場コンサートホール [開演] 14:30 [料金] S¥5,000(Sペア¥7,000) A¥4,000(Aペア¥5,600) B¥3,000 C¥2,000 ※U25各席半額(ペア席対象外)
	7/12(金) 第205回定期演奏会〈チェコの香り〉	[会場] 愛知県芸術劇場コンサートホール [開演] 18:45 [料金] プラチナ¥7,000 S¥5,000 A¥4,000 B¥3,000 C¥2,000 ※U25各席半額
	7/21(日) Wコンチェルト 成田達輝 Vol.1	[会場] 愛知県芸術劇場コンサートホール [開演] 14:30 [料金] S¥5,000(Sペア¥7,000) A¥4,000(Aペア¥5,600) B¥3,000 C¥2,000 ※U25各席半額(ペア席対象外)
一般発売 5/22(水) 会員先行発売 5/20(月)・21(火)	7/28(日) 超! 有名曲シリーズ Vol.7 『アメリカ』	[会場] 愛知県芸術劇場コンサートホール [開演] 14:30 [料金] S¥5,000(Sペア¥7,000) A¥4,000(Aペア¥5,600) B¥3,000 C¥2,000 ※U25各席半額(ペア席対象外)
	8/11(日) Wコンチェルト 金子三勇士 Vol.3	[会場] 愛知県芸術劇場コンサートホール [開演] 14:30 [料金] S¥5,000(Sペア¥7,000) A¥4,000(Aペア¥5,600) B¥3,000 C¥2,000 ※U25各席半額(ペア席対象外)
一般発売 6/26(水) 会員先行発売 6/24(月)・25(火)	9/28(土) 第206回定期演奏会〈イギリスの色彩〉	[会場] 愛知県芸術劇場コンサートホール [開演] 14:30 [料金] プラチナ¥7,000 S¥5,000 A¥4,000 B¥3,000 C¥2,000 ※U25各席半額
	10/6(日) オペラハイライトシリーズ Vol.2 ヴェルディ「椿姫」	[会場] 愛知県芸術劇場コンサートホール [開演] 15:00 [料金] プラチナ¥7,000 S¥6,000 A¥5,000 B¥4,000 C¥3,000 ※U25各席半額

ご支援のお願い

賛助会員・リスナー会員になると、チケットの優先予約・会員割引の優待が受けられます。



チケットシステムご利用のご案内

各公演のチケットはホームページのチケットシステムでご購入いただけます。スマホやパソコンから24時間いつでも、自分で座席を指定してチケットを購入することができます。ぜひご利用ください。



[チケットシステム] ※定期メンテナンス中はサービスを一時停止します。
<https://yyk1.karuku.com/caso-s/showList?lf=0>
 © 購入可能なチケットは、チケットシステムの「公演一覧」にてご確認ください。

定期会員募集中

[受付期間] 4月25日(木) 17:30まで

定期会員特典

- 7公演同じ座席
- 1回券に比べ割安価格
- 次年度継続時優先確保
- プログラムご芳名掲載(匿名可)
- 主催公演チケット優待割引
- 主催公演チケット先行予約
- 名古屋市美術館企画展ご招待

